



滋賀県版No. 342
2022・7・15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒113-0034
東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・
全労連会館

発行
滋賀県本部
〒520-0803
大津市竜が丘11-22-316
☎077-521-0884
柚口 延

さあ国賠署名を開始

5000筆達成へ

治安維持法は「国体の変革、私有

財産制度の否認を目的とする結社活動・個人的行為に対する罰則を定めた法律。……主として共産主義運動の抑圧策として違反者には極刑主義を採り、言論・思想の自由を蹂躪。45年廃止」（『広辞苑』第七版）されたものです。

治安維持法は共産主義者、社会主義者だけでなく、リベラリスト、宗教者まで弾圧、まさに『広辞苑』が後段で述べるように「言論・思想の自由を蹂躪」するものでした。1939年、滋賀県出身の明石順三が主宰する灯台社のメンバー130余人が逮捕され、太平洋戦争中の1943年には大阪商大で教員・学生54人

が検挙されています。

参院選で自民、維新などの「右翼勢力」が伸びました。私たちはいまこそ「自由と平和」の闘いを広げなければなりません。その大きな一環として「言論・思想の自由・人権を守る」ために、日本を「戦争する国」にしないために、戦前の治安維持法弾圧を弾劾し、犠牲者に謝罪を求める「国賠署名」を大きく広げようではありませんか。

戦前の23年間、主権在民・反戦平和を訴え続けた日本共産党は、治安維持法によって激しく弾圧され、岩田義道、野呂栄太郎、小林多喜二などが特高警察の拷問によって虐殺され、伊藤千代子、飯島喜美など多

7月6日現在
会員 319人
(目標350人)
個人署名 230筆
(目標5,000筆)
団体署名 0筆
(目標150筆)

くの前輩が獄死しました。
7月15日、日本共産党が創立100周年を迎えました。この7月15日から、治安維持法犠牲者に対する「国賠署名」を開始しようではありませんか。

7月5日に、甲賀市の会員・田中哲さんから200筆の個人署名と5団体の団体署名が届けられました。田中さんの取り組みは私たちを大きく励ましています。

会員のみなさん。さあ一緒に意気高く「国賠署名」に取り組みようではありませんか。人権を尊重する日本国憲法を守り、生かすために。

千代子獄中最後の手紙を見る北海道ツアーのご案内 8/28~29

8月28日(日) 午後2時~5時 苫小牧市立図書館講堂

①手紙を見る会 2時~2時30分 ②映画運動全国交流会 2時30分~5時

8/28~29ツアー概要 定員25名 宿泊先: 東横イン苫小牧駅前(シングル泊)

★羽田空港発着 28日9:00発←千歳着10:35 ANA055便/ 29日21:05着←千歳発19:30 ANA078便

★現地はマイクロバスで移動 ★野呂栄太郎記念碑、長沼小学校レリーフ見学

★航空費+宿泊費 52,530円(羽田発着者摘要)、諸費用22,470円(移動バス、昼食2回、夕食、懇親会、雑費)計75,000円 ◆羽田発着以外の方=航空券+宿泊ホテル代8,000円相当を見込んで下さい

★申込先 「映画製作を支援する全国の会」「同盟千代子チーム」藤田廣登さん

連絡先 090-4527-1129 mail:fujitahiro@outlook.com

共産党、ドキュメンタリー映画になる！

日本共産党の今とこれからを描いた映画『百年と希望』

大津支部長 松尾 隆司

ドキュメンタリー映画『百年と希望』を、京都みなみ会館（7月8日～14日）で見ました。

パンフレットには「最古の政党が歩んできた百年の歴史とそれを受け継ぐ若き世代を映した1年間の記録」とあります。激動する世界と日本の中でがんばる共産党の姿が、初めて映像として捉えられたのです。

百年の歴史をもつ日本共産党、その百年の「自由と平和のための不屈のたたかい」の到達点に立って、「ジェンダー平等」にとりくむ池内さおり（元衆議院議員）、「理不尽な学校校則の改革」にとりくむ池川友一（都議会議員）らの日常の活動が、映し出されていきます。

実にみずみずしく、力強く、感動的なショットの連続です。まさに現在の共産党の姿が、正面から描か



れたのです。これは日本の政党史上でも初めてともいえる画期的なものです。西原孝至監督は「海外映画祭出品に向け、英語字幕を製作中です」と語っていました。世界のジェネレーション・レフト（左翼的な世代）に衝撃が走るのが楽しみです。

読書案内

『告発 戦後の特高官僚
反動潮流の源泉』

柳河瀬精著

戦後の
反動潮流の源泉
特高官僚

ものすごい「調査力」だ。

250人に及ぶ戦前の特高警察官僚の戦前の地位と行政における悪行が暴かれ、そして戦後、彼らが政府の要職に就き、とりわけ文部行政をゆがめ、警察や公安調査庁を支配し、地方行政で暗躍したことが詳説

されている。40人の特高官僚が国会議員となり、国政反動化の推進者となったことを明らかにしている。特高官僚は、戦前・戦後を通じて、この国を歪めてきたのだ。

滋賀県では1953年に滋賀県教職員組合編纂の『冬休みの友』に中国から帰国した子供たちの作文を掲載したことが「偏向教育」と攻撃される事件があった。これは戦犯として公職追放された特高官僚の大達茂雄が文部大臣に就任して、教員の思想調査、「偏向教育」攻撃を行った一環であった。

大達によつて教育の国家統制が強まり、今日に至っている。特高官僚の罪悪は許せるものではない。

ちなみに前記の『冬休みの友』の編集者は北島や先生で、周知のように滋賀の母親運動の創始者、のちにわが国賠同盟に加入された。この本は、警察に残った特高官僚たちが戦後の警察を支配してきたことも明らかにしている。

（4頁）

2万人の同盟建設を早期に実現しよう

第40回全国大会開催 各地で上映運動進み、会員拡大前進



新会長に選出された吉田万三さん
(中央・マイクを持ち挨拶する人)

国賠同盟の第40回全国大会が6月12日、13日に東京の全労連会館で行われました。3年ぶりに開かれた全国大会には、全国からは134人が参加し、滋賀県本部からは、島田耕会長、西田清副会長、柚口延事務局長の3人が参加しました。

田中幹夫事務局長から「目前に迫った参院選で大軍拡、戦争する国づくりを進める改憲勢力3分の2阻止、早期2万人の同盟建設達成を」と報告と提案がありました。この間の2万人会員をめざす特別運動では、全国で461人を拡大しました。映画「わが青春つぎ」とも鑑賞後、各地で同盟に入会されたという報告がたくさんありました。

国会請願活動について。5月11日、22都道府県の代表108人が参加しました。今年の請願署名は、9万7505筆で、2018年以降20万筆割れが続いている。高齢化が進み、力持ちが減少。各県・各支部では、なぜ署名が進まないのか、よく検討してほしいと提案がありました。

討論では千代子上映運動に関する発言が相次ぎました。「千代子映画24回上映で22人が加盟」（千葉）、「会員増10ヵ月連続2桁会員増」（兵庫）、「映画を7会場、1170人が見た。11人が同盟加盟」（沖縄）など映画上映と会員拡大の経験が報告されました。



役員選出では、新会長に吉田万三氏（東京都）が選出されました。滋賀県本部の古谷道代さんが新常任理事に選出されました。

湖北支部 支部総会を開催

6月24日、長浜市のリュートプラザで湖北支部第16回支部総会が開催されました。

前期は、コロナ禍で対面会話の機会が減り、個人署名が未達に終わったこと、会員拡大については、前回総会時比1人減となったこと、雑誌「治安維持法と現代」は4部増と前進したことが報告されました。映画「わが青春つぎ」ともは124人の参加で成功。今期の目標は、署名1600筆、会員拡大80人となりました。支部長に橋本健さん、事務局長に池田安廣さん（ともに留任）が選出されました。



橋本健支部長

治安維持法と滋賀県 ③

県本部副会長 西田 清

学連事件と3・15弾圧

学連事件と3・15弾圧の犠牲者は2013年に県本部が発行した『滋賀県・治安維持法犠牲者名簿』に記録されている。1926年の学連弾圧事件では滋賀県東浅井郡出身の清水平九郎（明治学院）が東京で、大津市出身の原田耕が大阪（大阪外語）で検挙され（彼らはその後も繰り返し検挙されている）、3・15弾圧では京都で桑田律が検挙されている。

原田は一時、あの伊藤千代子が収容された松沢精神病院へ入院しているが、これは拷問による精神障害によるもので、ほかにも幾人かの先達が松沢病院に入院している。

『滋賀日日通信』は桑田律の検挙を「県議の娘赤で検束」と次のように報じている。

大津署特高課の応援を得て京都府特高課では本月上旬以来数回県下に帰省中の同志社大学の男女学生を大

津署に召喚し極秘裏に取り調べ中であつたが去る九月八日、伊香郡大字縣・県議員桑田捨次郎氏の四女律子（二一）を下宿先である京都市田中野崎町熊谷辰夫方より西陣署に引致したのを始め、本県出身の男女学生数名検束して取り調べの結果、事件の内容は学生社会科学的研究に関するもので日本共産党の残党の一斉検挙に引かかったものであるが、或は同志社を中心とした第二の学生事件が発覚したものである。

この記事は警察の発表をそのまま報じたものと思われる。「第二の学生事件が発覚」などと、いかにも「大事件」のように吹聴するのが、警察の慣習だから。

この記事を読んで、私は不可解に思った。「伊香郡大字・縣」なんて地名はない。そこで当時の県会議員名簿を調べてみると、「桑

田捨次郎」氏は甲賀郡出身議員であることが判明した。

『滋賀日日通信』の矢尾氏が、なぜ「伊香郡」としたのかはわからないうが、桑田県議をかばう気持でもあつたのだろうか。

県議の娘が「赤で検挙」となつたら当時、県議会も騒ぐものだろうが、当時の県議会の議事録を調べてみたが、この件はいつさい取り上げられていない。

滋賀には「波風を立てぬ風潮」、「人を傷つけることを好まぬ風潮」があるのだろうか。それは「言上げしない滋賀の民」につながっているのだろうか。この辺、私はもやもやしている。

なお桑田律さんはその後上京し、清水平九郎と結婚された。平九郎氏亡き晩年は郷里の甲賀郡甲賀町で過ごされた。



生前の桑田律さん

(3頁より)

例えば滋賀県特高課長だった高橋貢は京都府警察部長になつている。また特高官僚は、都道府県の内政部長や経済部長に就任し、地方自治体を特高感覚で運営している。もともと特高官僚が国家机关の主要ポストに就任してきたことも見逃してならない。

『告発 戦後の特高官僚』は「戦後の反動的潮流に必特高官僚の影がある」と指摘している。治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を求めることは、日本の政治から「特高官僚の影」を払い、民主政治を実現することでもある。

(K・N)

映画『百年と希望』と中北浩爾著『日本共産党』

高田 直樹

今年7月15日に日本共産党は創立百周年を迎えます。その日本共産党を描いたドキュメンタリー映画と、著名な政治学者による著書がそれぞれ上映、発刊され、今話題を呼んでいます。

日本共産党の「今」に
密着した映画

映画『百年と希望』の監督は39歳の西原孝至さん。『大阪民主新報』に西原監督のインタビューが掲載されていたので、その内容を一部紹介します。

西原さんは共産党から言われて作った映画ではない、と映画作成の動機についてこう言います。

「市民に寄り添って、社会をよくしたいと真つ実に訴えている政党なのになぜ共産党の議席が増えないのか気になっていた。ドキュメンタリーを作ったら面白いのでは

ないかと思った。僥倖ながらこれは自分しかできないのでは、と思つた。」

昨年1年間をかけて撮影し、秋の総選挙ではジェンダー平等、LGBTQなど人権問題に取り組んできた池内さおりさん（元衆院議員）に密着。夏の都議選では都立高校での「ツープロックスの髪型」禁止撤廃を求める質問がメディアにも取り上げられた池川友一都議を追い、子どもを4人の子育てと議員活動を両立させる池川さんの姿も。

ナレーションを一切用いず、人びとや風景の中にカメラを構え、話を聞き、静かに見つめた1年間の記録。作品に英語字幕もつけて海外の映画祭にも出品する予定だそうです。

「自己責任、自助努力をおおる新自由主義や、家長長制的な自民党の考えに違和感を感じている人はすく

多いと思います。こんな自民党に對抗する共産党の存在が希望になつていて若い世代もいます。あきらめずにやるのが大事。そのためにも共産党の人たちが自分の言葉でこの社会の何を変えていきたいか、やさしく語ってくれたら共産党に親近感が湧く人が増えてくれるのではないかと監督は語ります。「百年後の人が百年目の日本共産党がこういう姿だったと知ってもらえる記録になれば」とも。

7月8日から京都みなみ会館で上映が始まります。少なくとも7月中は上映しているそうです。実は私もまだ見ていないので参議院選挙が終わったら、すぐに見に行く予定です。

中北浩爾著『日本共産党』
(中公新書)

もう一つの話題作は、著名な政治学者である中北浩爾（一橋大学大学院社会学研究科教授）著『日本共産党』（中公新書）。5月25

日に発行され、あつという間に3万部以上も売れて6月20日にすでに3刷となつています。わが家の近くの書店でも新書ベスト9位にランクされていました。早速買って読んでみました。新書ですが440頁にもものぼる大著といつてよい分量です。この本が数万部も売れているというのはすから驚きです。

中北教授は、この本を書くに至つた動機についてこう述べています。

日本共産党を否応なく意識せざるを得なくなつたのは、2015年の安保法制反対運動とその後の野党共闘の進展である。

：野党共闘を論じるには、結党までさかのぼって日本共産党について本格的に分析する必要がある。次第にそう考えるようになった。

中北教授は先進国の共産党が東欧革命とソ連の崩壊を背景に衰退していったことを考えると日本共産党が路線の変更なしにそれを乗り切り、衰退傾向にありながらも「かなりの踏ん張りを見せている」ことに注目

する。

その理由は、「宮本顕治氏の政治路線」にあるとする。1960年代にソ連・中国などに対する「自主独立路線」を確立するとともに、「社会主義革命論」ではなく「民族民主革命論」を採用した。その結果ソ連崩壊のダメージを比較的受けずにすんだ、としながら、こう結論付けています。

ソ連崩壊後も本格的な路線転換なしに比較的存続できた理由は、宮本路線の遺産にあるとみてよい。だが、それはいよいよ限界に達しつつあるようにみえる。

この認識に立つて、中北教授は、日本共産党の路線転換が必要だとして、二つの選択肢を示しています。一つの選択肢はイタリア共産党のような社会民主主義への移行。もう一つの選択肢はヨーロッパの急進左派政党の路線、民主的社會主義への移行です。そして後者の方向が若者などへの支持

の拡大に寄与する、と推奨しています。

党の内外の力を結集して『日本共産党百年史』をぜひ

中北教授が日本共産党の選択肢として提示している方向性が、未来のある方向なのかは疑問です。中北教授は、世界に現存する左翼政党のいずれかのモデルを日本に適用しようとしているのですが、そもそも日本共産党はどこにもモデルのない道を歩もうとしているのです。運動の場と距離を置いている政治学者としての限界というべきかもしれません。日本共産党綱領にはこう書かれています。

「日本における社会主義の道は、多くの新しい諸問題を、日本国民の英知と総意によって解決しながら進む新たな挑戦と開拓の過程である」

わたしは、日本共産党の百年の歴史を踏まえて、今「新しい挑

戦」への議論がまきおこることが大切だと感じています。その意味でこの中北教授の著書は議論の素材を提供してくれている意味で意義のある提案ととらえるべきでしょう。

そして、今後の方向性を議論するうえでもこの百年の歴史を日本共産党自身が、しっかりと総括する活動が必要です。日本共産党の公式の党史は『日本共産党の八十年』（2003年）が最後です。ぜひ『日本共産党の百年史』が党の内外の力を集めて作られることを期待したいと思っています。

中北教授の著書では、戦前の非合法時代から戦後の占領期の日本共産党の路線や活動について、未熟さや問題点が多く指摘されています。研究者として史料やデータに基づく客観的な分析を心掛けた、と言われている通り、「根も葉もない」ことは書かれていません。しかし、事実であつたとしてもそれをどういう視点から評価するかが問題ではないでしょうか。この点について『現代日本の思想』の鶴見俊輔さんの評価を思い起こしました。

鶴見さんは日本共産党のさまざまな「マチガイ」を指摘しつつ、「過去三十年において日本共産党が、その下におかれつづけてきた圧力状況を考えるとき、以上の批判は、すべて今後に望むべき言葉としてのみ正当であるように思われる」と書いています。そして有名なこの言葉を遺しました

「すべての陣営が大勢に順応して、右に左に移動して歩く中で、日本共産党だけは、創立以来、動かぬ一点を守り続けてきた。それは北斗七星のように、それを見ることによつて、自分がどの程度時勢に流されて来たか、自分がどれほど駄目な人間になつてしまつたのかを計ることのできる尺度として1926年から1945年まで日本の知識人によつて用いられてきた」（久野収、鶴見俊輔著『現代日本の思想』1956年岩波新書）

滋賀と朝鮮 76

番外編 映画「金福童」

河 かおる

今回は8月14日の上映会の紹介をさせていただきます、定期的に今号でない間に合わないので、たびたびの番外編ですがお許し下さい。

皆さんは8月14日が日本軍「慰安婦」メモリアル・デーというところをご存知でしょうか。1991年8月14日、日本軍「慰安婦」の生存者である金学順さんが名乗り出た日を記念するもので、性暴力被害の根絶や尊厳の回復のための取り組みが世界各国で行われています。2012年12月に台湾で開かれた第11回日本軍「慰安婦」問題アジア連帯会議において、8月14日を国際的な日本軍「慰安婦」メモリアル・デーとすることを決議しました。2013年が第1回だったので、今年は第10回にあたります。

韓国では、文在寅政権が2017月に8月14日を「日本軍『慰安婦』被害者を称える日」として国家記念日に指定し、2018年以来、毎年、政府主催の記念行事を行っています。文在寅大統領は2018年には直接参席し、コロナ禍の2020、2021年は映像メッセージを寄せました（2019年はおそらく日韓関係の極度の悪化を考慮して大統領は登場せず）。今年は政権が変わり、記念日行事を所管している女性家族部を廃止すると言っているのでしょうか心配です。

日本でも市民団体が8月14日を前後して例年さまざまな行事が行われて来ました。以前にこの連載でも少し書きましたが、今年3月に日本軍「慰安婦」問題を記憶・継承する会・滋賀が発足しました。この主催で、滋賀県でも8月

14日に映画の上映会をすることにしました。上映するのは、2019年に韓国で公開されたドキュメンタリー映画「金福童」です。

メモリアル・デーの起源になった金学順さんの名は知っていても、金福童さんの名は始めて聞いたという人が多いかもしれません。金福童さんは1926年に朝鮮の慶尚北道梁山で6人姉妹の4女に生まれ、早くに父を亡くしただけの家族で何とか生きてきました。16歳になった1941年、区長と班長が日本人を連れてきて、軍服をつくる工場で働くためにテインタイ（挺身隊）に3年間行け、行かなければ反逆者になると脅し、行くことになりました。釜山から下関、台湾を経て広東に着すると病院のようなところに連れて行かれ、無理矢理に性病検査を受けさせられ、そのまま「慰安所」に入れられます。全部で30人の女性がいて、1人の中国人以外は全員朝鮮人だったそうです。もう死のうと思つて、母から持たされた非常時のお金を中国人に渡

して死ぬための薬を買おうとし、渡されたコリーヤン酒を飲んで意識不明になりましたが死ぬませんでした。

その後、日本軍に連れられて香港、シンガポール、インドネシアと転々としていたある日、ぱたりと軍人が来なくなつて2週間ぐらいが過ぎました。実は日本が敗戦していたのですが、何も知らされていませんでした。日本の軍人たちにシンガポールに連れて行かれると、同じような境遇の朝鮮人女性が300人ぐらいたそうです。日本軍はその女性たちに注射を打つなどの看護訓練をさせました。「慰安婦」制度を隠蔽するための偽装と考えられます。当時の陸軍の資料に、南方軍第10陸軍病院の「傭人」として金福童の名が記載されているものがあり、証言を裏付けてくれます。

何カ月もかかってようやく6年ぶりに故郷に帰りました。結婚を勧める母に「慰安婦」にされたことを打ち明け、嘆き悲しみました。母のために結婚しましたが上手くいかず別れて再び母と暮らし、その後再婚

して釜山で暮らしましたが夫は早くに亡くなりました。子どもはなく、釜山で一人暮らしをしていた時、テレビで「挺身隊」の申告を呼びかけるのを見かけ、親族が反対するのを押し切って、1992年1月17日、名乗り出ました。

名乗り出以後、1992年8月にソウルで開かれた第1回のアジア連帯会議で証言、1993年、ウィーンで開催された世界人権大会でも証言、特に2010年代に入ってから日本を含む世界各地で証言し、人権活動家として数々の賞を受けました。受け取った賞金で、韓国のみならず世界中の戦時性暴力被害者支援や、日本の朝鮮学校の生徒の奨学金のための基金を作り後世に託しました。2011年3月の東日本大震災に際しても率先して募金を提案、自らも寄付をしました。

映画の制作は2018年の秋から開始されました。実は私もまだこのドキュメンタリー映画

を観たことはないのですが、監督のソン・ウオンゴンさんが2021年に出版された映画の制作日誌のような本『その名を呼ぶとき』を読みました。おそらく映画は、「慰安婦」だった時ではなく、人権活動家としての金福童さんにフォーカスをあて、金福童さんから意識的に、あるいは無意識のうちにバトンを受け取っている様々な人々にインタビューし、スクリーンを通じて観客にもバトンを渡すような、そんな映画ではないかと思っています。2019年の年初、金福童奨学金を受給した朝鮮学校の学生への日本でのインタビュー撮影を終え、監督は子どもたちから預かった手紙を届けようとしたが、病状が悪化して意識が戻らないまま、2019年1月28日、永眠されました。享年92歳。

映画「金福童」は韓国の独立メディア「ニュース打破」が制作した3本目のドキュメンタリー映画です。「ニュース打破」制作の1本目、2本目の映画「スパイネーション/告白」と「共犯者たち」はいずれも2018年に日本でも大きく話題

になりました。コロナ禍もあって映画「金福童」は日本ではほとんど上映されていません。おそらく、今回を逃したら観る機会はなかなか無いでしょう。是非、上映会の情報を拡散いただき、多くの人に観ていただきたいです。

【参考文献・ウェブサイト】

アクティブ・ミュージアム「私たちの戦争と平和資料館」編『証言 未来への記憶 アジア「慰安婦」証言集II 南・北・在日コリア編 下』（明石書店、2010年）

「金福童の希望」アドレスは下段に。

ドキュメンタリー映画「金福童」上映会

【日時】8月14日（日）

1回目10:30

2回目13:30

【場所】フェリエ南草津5階

大会議室

【チケット】一般800円

セブンイレブンでチケットぴあPコード「552 277」で購入可能

主催：日本軍「慰安婦」問題を記憶・継承する会・滋賀



詳しくはFacebookイベントページ

<https://fb.me/e/1W6kbVmfT>

「金福童の希望」アドレス
(<http://kimbokdong.com/>)

草津・りつとつ上映会案内

◆9月3日（土）草津市・光明寺14時〜「映画と交流の夕べ」

西田清さん・国賠同盟県本部のお話、映画上映、交流カフェ

◆9月4日（日）草津アマミカホール

10時30分〜12時40分

②14時〜16時10分

③14時〜16時10分